

2008年3月期 決算説明会

(社団法人 日本証券アナリスト協会主催)



東リ株式会社

2008年 6月 4日

* 本資料に関する注意事項

本資料に記載されている東リグループの計画・戦略・見通しのうち、歴史的事実でないものは将来の業績に関する見通しです。これらは、現時点で入手可能な情報に基づいた東リグループの仮定および判断によるものであり、実際の業績等は、さまざまな要因により、これらの見通しと異なる可能性があります。

目 次



I. 2008年3月期 決算概要

売上高・利益の推移	P. 4
連結貸借対照表概要	P. 5
連結キャッシュ・フロー計算書概要	P. 6
主要項目の概要(連結)	P. 7
セグメント別 売上構成	P. 8
連結セグメント別実績推移	P. 9

II. 中期経営計画 『GROW UP 2008』 重点戦略テーマの進捗について

『GROW UP 2008』の概要	P. 11
重点戦略テーマ 進捗状況	P. 12

III. 今年度以降の施策・展望

2009年3月期損益目標	P. 15
2009年3月期実施施策	P. 16
セグメント別損益改善施策	P. 17

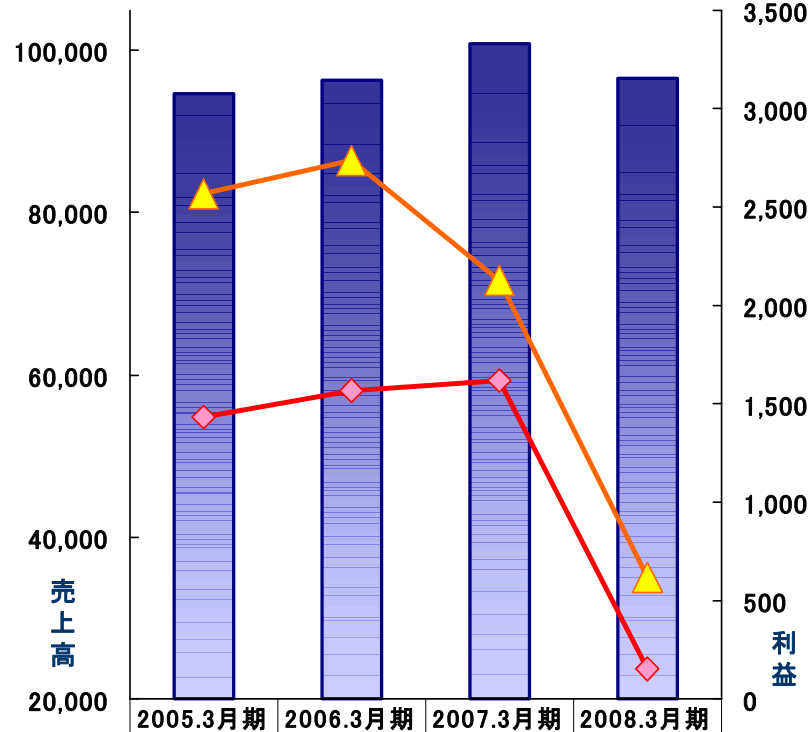
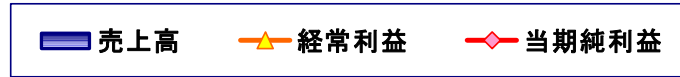
I . 2008年3月期 決算概要



売上高・利益の推移



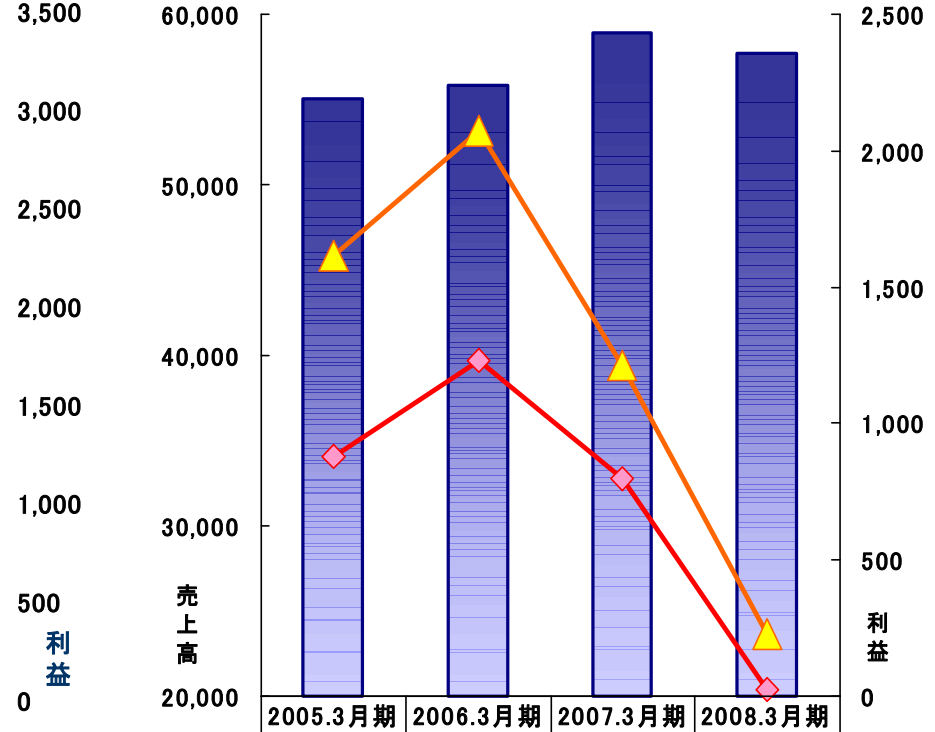
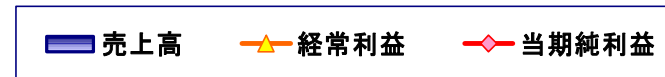
【連結】



売上高	94,699	96,375	100,936	96,641
経常利益	2,564	2,736	2,128	618
当期純利益	1,432	1,565	1,619	152

【個別】

(単位:百万円)



売上高	55,048	55,804	58,905	57,764
経常利益	1,617	2,070	1,214	227
当期純利益	877	1,231	801	27

- 【主な減収減益要因】
- 改正建築基準法施行(2007年6月)による建築着工量大幅減少
 - 原材料価格の高騰による原価上昇
 - 店舗市場を中心とした塩ビ製品事業の売上低迷

連結貸借対照表概要



(単位:百万円)

	2008年 3月末	2007年 3月末	増減		2008年 3月末	2007年 3月末	増減
売掛債権	27,607	31,243	△ 3,635				
棚卸資産	9,272	9,082	190	仕入債務	24,992	29,201	△ 4,209
流動資産	43,171	48,200	△ 5,029	流動負債	30,428	37,658	△ 7,229
				固定負債	13,999	13,035	964
有形 固定資産	18,031	18,290	△ 259	負債合計	44,428	50,693	△ 6,264
無形 固定資産	1,337	1,815	△ 477				
投資他 資産	7,658	9,727	△ 2,068	株主資本	24,268	24,490	△ 222
固定資産	27,027	29,833	△ 2,806	純資産合計	25,769	27,340	△ 1,571
資産合計	70,198	78,034	△ 7,835	負債及び純資産 合計	70,198	78,034	△ 7,835

【資産】

- 売掛債権額の減少 2007年3月末との比較
△3,635
- 未収入金の減少 △1,454
- 投資有価証券等の減少 △2,577
- (流動資産: △95 固定資産: △2,482)
- 繰延税金資産の増加 + 551

【負債】

- 仕入債務額の減少 △4,209
- 有利子負債残高の減少 △ 845
- 未払法人税・未払費用の減少 △ 497

【純資産】

- 株式評価差額の減少 △1,382
- (2007年3月末) (2,624)
- 利益剰余金の減少 △ 290

連結キャッシュ・フロー計算書



(単位:百万円)

	2008年3月期	2007年3月期	増減
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	2,480	1,501	978
税金等調整前当期純利益	411	2,019	△ 1,608
減価償却費	1,928	1,777	151
その他	140	△ 2,295	2,436
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 866	△ 784	△ 82
有形固定資産の取得による支出	△ 673	△ 770	97
無形固定資産の取得による支出	△ 93	△ 582	488
その他	△ 99	569	△ 669
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,231	△ 1,382	150
IV 現金及び現金同等物の増加額	382	△ 664	1,046
V 現金及び現金同等物の期首残高	4,398	5,062	△ 664
VI 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加	3	-	3
VII 現金及び現金同等物の期末残高	4,783	4,398	385

【営業活動によるキャッシュ・フロー】

- 営業収益の増加幅が減少
- 法人税等の支払額が減少

【投資活動によるキャッシュ・フロー】

- 固定資産取得による支出が減少
- 投資有価証券売却による収入が減少

【財務活動によるキャッシュ・フロー】

- 短期借入金の返済額が減少
- 長期借入金の借入額が増加
- 長期借入金の返済・社債償還額が増加

主要項目の概要(連結)



(単位:百万円)

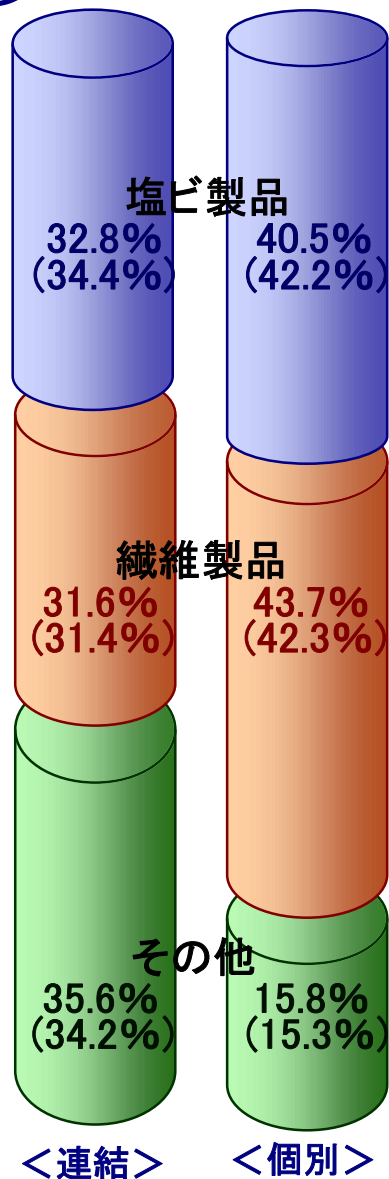
	2008年3月期 (07/4 - 08/3)	2007年3月期 (06/4 - 07/3)	前年同期比 増 減
設備投資額	767	1,353	△ 586
減価償却費	1,928	1,777	151
研究開発費	334	340	△ 6

有利子負債残高 (受取手形割引高除く)	10,100	10,945	△ 845
------------------------	--------	--------	-------

セグメント別売上構成



2008年3月期 ()は前年



塩ビ製品

- ◆ ビニル床タイル
- ◆ ビニル床シート
- ◆ クッションフロア



店舗用ビニル床タイル



医療・福祉施設用ビニル床シート

繊維製品

- ◆ タイルカーペット
- ◆ ロールカーペット
- ◆ パネルカーペット
- ◆ カーテン



タイルカーペット



ロールカーペット



カーテン

その他

- ◆ 壁装材
- ◆ 接着剤他
- ◆ 販売会社仕入商品 (ブライント・カーテンレール他)



壁装材



化粧仕上げ壁材



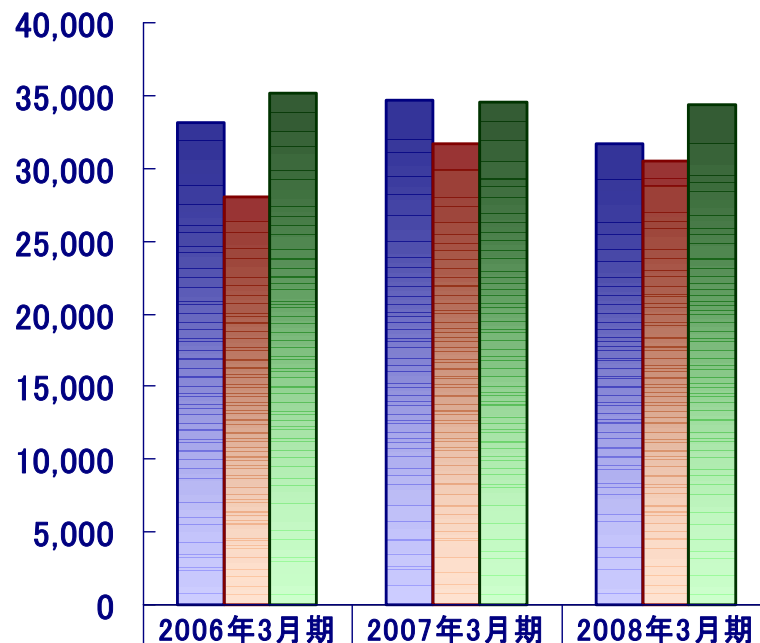
腰壁タイフ

連結セグメント別実績推移



売上高

■ 塩ビ製品事業 ■ 繊維製品事業 ■ その他事業

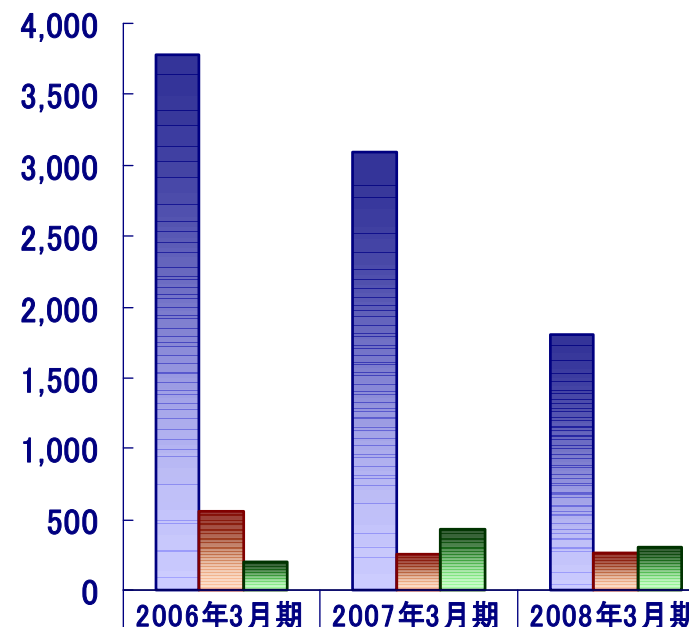


■ 塩ビ製品事業	33,164	34,684	31,713
■ 繊維製品事業	28,014	31,715	30,507
■ その他事業	35,196	34,536	34,420

営業利益

(単位:百万円)

■ 塩ビ製品事業 ■ 繊維製品事業 ■ その他事業



■ 塩ビ製品事業	3,780	3,089	1,809
■ 繊維製品事業	558	254	263
■ その他事業	200	430	311

* 本社共通費 1,543 1,574 1,549

<トピック>

塩ビ製品事業：売上高の大幅減少により減益

繊維製品事業：カーペット事業再編効果により増益

Ⅱ. 中期経営計画「GROW UP 2008」 重点戦略テーマの進捗について



『GROW UP 2008』の概要



【 東リ グループビジョン 】

トータルインテリアを演出する業界ナンバーワン企業グループを目指す

中期経営計画 『GROW UP 2008』 (2006年度～2008年度)

～ グループ収益力の強化を図るとともに成長モードへとシフトする ～

【経営目標】	《経営指標》	<連結>	<個別>
	売上高	1,080億円	620億円
	経常利益	50億円	40億円
	ROA(総資産経常利益率)	6.0%	6.0%

重点戦略 ①
ものを売る力を
強化する

重点戦略 ②
技術開発現場力
の向上

重点戦略 ③
グループ経営効率
を高める

【経営資源強化と基盤固め】

- ① 人材育成・人材開発
- ② ITの利活用
- ③ コーポレートガバナンス及びリスクマネジメントの強化

重点戦略テーマ進捗状況①



ものを売る力を強化する

【重点施策】

種蒔営業と刈取り営業の分業体制構築

エリア別アクションプログラム推進

小口獲得に向けた販促政策・業務効率化実施

【成果】

営業支援システムの導入・活用
種蒔営業件数の大幅増加

首都圏での営業力強化
各エリアでの販路拡充

卸代理店向けサービス拡充
施工支援体制の強化

技術開発現場力の向上

【重点施策】

新規技術開発研究の重視

コア事業への経営資源集中投下
(塩ビ床材事業・タイルカーペット事業)

マーケティング戦略構築力の強化

【成果】

市場要求を満たした新規技術確立

カーペット事業再編効果

賃貸住宅市場用商材の開発

重点戦略テーマ進捗状況②



グループ経営効率を高める

【重点施策】

在庫効率の改善

物流戦略の推進

カーテン事業収益改善

グループ間接部門業務集約化推進

【成果】

在庫削減効果：2.3億円／年（2006年度比）

物流改革効果：2.8億円／年（2006年度比）

グループカーテン企画業務統合

グループ6社の間接業務集約化

その他取組実績

【取組施策】

人材育成の強化（教育研修制度充実）
選抜型プロジェクト研修の推進

内部統制システムの構築

基幹システムのリプレース準備
卸代理店向けEDIの推進

新研修センター建設がスタート
人材開発のためのグループ有効活用検討

Ⅲ. 今年度以降の施策・展望



2009年3月期 損益目標



【中期最終年度目標】

連結売上高: 1,080億円 連結経常利益: 50億円

◆ 2009年3月期は、中期計画策定時に想定した経営環境と比べ大きく変化している

建築着工量の大幅減少

国内景気減速による
消費低迷懸念

原油価格の高騰
(中計策定当時WTI相場: 65ドル前後)

【当期業績予想】

(単位: 百万円)

	連 結		
	2007年3月期	2008年3月期	2009年3月期(予)
売上高	100,936	96,641	93,000
営業利益	2,200	834	900
経常利益	2,128	618	650
当期純利益	1,619	152	300

【今年度方針】

- ◆ 想定以上に加速する経営環境の変化に対応できる企業体制の構築
- ◆ 次年度以降の収益体質改善に向けた施策の検討・実施



【今年度具体的施策】

- ◆ 塩ビ床材・タイルカーペットを中心とした値上げ実施(10~15%)
- ◆ 高付加価値商品の重点的開発・販促活動の実施
- ◆ カーペット再編効果最大化:製品開発力・コスト競争力の強化
- ◆ 販売促進費の効率的運用と見直し
- ◆ 物流費削減施策の実施
- ◆ 縫製所・倉庫等の拠点再編によるコスト削減

セグメント別損益 改善施策



◆ 塩ビ製品事業

<事業方針>

要素技術の拡充により応用性の高い事業基盤を確立

成長市場(環境・リニューアル等)へ向けた高付加価値・高収益商材の開発・市場投入

	利益改善施策	市場拡大施策
直近の課題	主要製品の値上げ実施 既存商材の拡販(モデルチェンジ等)によるグループ収益力の改善	リニューアル市場獲得に向けた簡易施工商材の開発 家庭用商材開発によるシェア拡大 住宅関連メーカーとの連携による新たな商材・工法開発
中期的な課題	生産体制・工程見直しによる効率化・利益率向上	新市場創出に向けた技術拡大・商材開発 新商材・新市場にマッチした販路検討・拡大

◆ 繊維製品事業

<事業方針>

カーペット事業再編効果の最大化 → 塩ビ製品事業に次ぐ収益の柱へ
カーテン事業の完全黒字化



	利益改善施策	市場拡大施策
直近の課題	タイルカーペット製品の値上げ実施 カーテンのアイテム効率向上による 販促コスト・棚卸損の削減 タイルカーペットコスト競争力向上	新製品の積極的投入 環境配慮型商材の拡充 端材リサイクル率80%以上 カーテン市場別販売体制の 構築による売上拡大策推進
中期的な課題	設備投資による生産性向上 廃材処理費用の大幅削減	住宅用カーペットの新提案 ゼロエミッションへ

セグメント別損益 改善施策



◆ その他事業

<事業方針>

立面施工材・新規商材の開発

新規事業領域への参入

	利益改善施策	市場拡大施策
直近の課題	主要製品の値上げ実施 利益率の高い立面商材の拡販 グループ販社の専門商社機能強化	環境配慮型商材の拡充 壁面リフォーム市場獲得に 向けた商材開発・販路拡充
中期的な課題		新築着工量に左右されにくい 新規事業領域への展開